

相原地区資源ごみ処理施設連絡会（第7回）

議事要録

- 日時 2015年5月30日（土）18時00分～19時25分
- 場所 堺市民センター 1階会議室
- 出席 委員：平山富士雄会長、江田龍巳委員、井川光夫委員、諏訪正之委員（新任）
- 欠席 1名：井上正行副会長

■ 事務局

環境資源部：小島環境資源部長、田後循環型施設建設担当部長

循環型施設整備課：守田課長、市川担当係長、深澤担当係長、中島主任、柳川主事

環境政策課：水島環境資源部次長、塩澤担当課長

コンサルタト：株式会社 日建設計

■ 傍聴者 0名

■ 配布資料

- ・ 1 : 第6回連絡会で頂いたご意見・ご要望
- ・ 2 : 2015年度相原地区連絡会検討スケジュール（案）
- ・ 3-1 : 配置計画（案）の比較表
- ・ 3-2 : 相原地区資源ごみ処理施設の配置計画計画（案）
- ・ 3-3 : 相原地区資源ごみ処理施設の断面図（案）
- ・ 3-4 : 相原地区資源ごみ処理施設の立面図（案）
- ・ 4-1 : 今後の事業スケジュール（案）
- ・ 4-2 : 地区連絡会及び見学会等における今後の協議事項について
- ・ 参考資料1 : 経過報告

■ 提示資料

参考資料 相原地区資源ごみ処理施設の平面モニタージュ

○ 委嘱式

相原仲町会代表として、青木委員の後任である諏訪委員の委嘱式を行った。

○ 職員紹介

4月の異動に伴い、環境資源部 小島部長及び、環境政策課 塩澤担当課長 その他職員の紹介があった。

○ 開会の挨拶

小島部長より、開会の挨拶を行った。その後、事務局より配布資料と議題の確認を行なった。

1. 経過報告

・参考資料1：経過報告

参考資料1を用い、事務局から、第6回連絡会以降の相原地区及び他地区での経過を報告した。

・井川委員

前回の戸町会での説明会から期間が空いており、戸町会の住民はその後の経過が分からず不安に思っている。

・田後担当部長

町会から、進捗状況の説明や町田市内全域で行っている資源化に向けた動きの説明の希望があれば、お伺いして開催する。

・平山会長

その件については、調整をお願いしたい。

2. 協議事項

○ 議題1 第6回連絡会で頂いた御意見・御要望について

・資料1：第6回連絡会で頂いたご意見・ご要望

資料1を用い、事務局から、第6回連絡会で委員から頂いたご意見・ご要望に対して検討した結果について説明した。

(以下、質疑応答)

特に質疑は無かった。

○ 議題2 2015年度の検討スケジュールについて

・資料2：2015年度相原地区連絡会検討スケジュール（案）

資料2を用い、事務局から、今年度のスケジュールについて説明した。

(以下、補足説明)

・田後担当部長

赤枠で囲っている部分が、方針検討の流れとなっており、本日の協議事項は施設の位置やレイアウトである。次回9月の予定は、ワークショップでの要望について、いただいた意見を、市でまとめ、提案する。提示した資料を基に、皆さんで検討していただきたい。部屋のスペースや、コミュニティー、環境学習、郷土資料の展示スペースについて、スペースごとの使用の

方向性などを議論していただきたい。大戸町会の要望に同様な内容も多いため、次の地区連絡会までの6月、7月、8月の3カ月の間に大戸町会と調整させてもらいたいと思っている。具体的な要望は、地元の方と調整をしないと、機能や周辺整備に直接的な影響があると思う。9月の地区連絡会では、出された意見を踏まえて、議論していただこうと思っている。そこで方向性が出なくても、10月～12月で開催して良いと思うので、本日、質問をいただき、それを参考意見として検討する。

(以下、質疑応答)

・平山会長

郷土資料館や八木重吉資料館など、ワークショップで出た。ただ、関係者はそのような建物を望んでいないようだ。住民のアイデアとしての意見だろう。資料館等は、関係者の財産権や著作権、その他も関係するため、慎重に進めてほしい。

・田後担当部長

市でも資料館等の設置や管理する部署がある。担当部署と調整し、考えを提示する。意見は直接聞いていないため、確認する。ワークショップで意見が出たが、実現可能かは市で考える。その後、話しさせてもらう。

○ 議題3 相原地区資源ごみ処理施設の配置等について

- ・資料3-1：配置計画（案）の比較表
- ・資料3-2：相原地区資源ごみ処理施設の配置計画計画（案）
- ・資料3-3：相原地区資源ごみ処理施設の断面図（案）
- ・資料3-4：相原地区資源ごみ処理施設の立面図（案）

資料3-1、資料3-2、資料3-3、資料3-4を用い、事務局から、相原地区資源ごみ処理施設の配置について説明した。

(以下、質疑応答)

・平山会長

AとBで2つ比較検討すると、結局、Aかなと思う。

・井川委員

B案で、下のほうから道路が上がるようになる。これは設計上、ここから上がらないといけないのか。

・高津（日建設計）

T P表示で180mまで上げるには、周回道路を計画地内に収める必要がある。車の軌道には限界があるため、回転軌跡を確認すると、曲線が連続した形状ならば可能かもしれないが、収集車が走るため、カーブが多いと走行音も発生する。計画段階ではこの程度のカーブが適切だと思っている。

・井川委員

B案は、建物は離れて良いが、住宅に沿って道路があるので、結構うるさいのではないかと思う。

・高津（日建設計）

A案のような周回道路で配置を考えたが、周回道路で上り切るのがA案の限界で、そうすると、結局配置がA案に近くなる。B案の建物配置とするには、もっと南側から上がらないと、通路の勾配と距離が確保できない。

• **井川委員**

わかりました。工場の中の音は押さえられると思うが、車両からは排気ガスや音も出るため、離れたほうがいいのかもしれない。

• **田後担当部長**

A案で説明すると、自然の地形を生かし、かつ公園部分を多く確保できる事がいいと思う。先ほどの説明にもあったが、ごみ処理施設が目立たない配置になる。学校との間にも杉の木立があり、道路側、町田街道側からも目立たない。家政学院に行く途中で横を通る時は見えるが、林や自然地形を残すと、計画地内が目立たないため良いのではと、市は考えている。

環境学習や、公園の中に入った時にも、処理施設が隣接していないほうが良いと思う。市として、コストを言いたくないが、B案の建設には多額の費用がかかる。コストの件を除いて考慮しても、A案がいいと市は考えている。

• **平山会長**

本日、井上委員が欠席の場合だが、大戸の住民の意見では、B案は中相原に施設が近づき過ぎている部分がある。だが、B案は学校などに近くなる。道路を挟んでいるが、中相原のお寺の霊園があるという状態と、敷地の傾斜的にB案を進めると建物からは90mとなるが、A案の場合もっと離れる。敷地では70mになっている。

• **田後担当部長**

建物だと110m。

• **平山会長**

建物からの離隔距離を考えると相当離れている。その点を考慮すると、A案が良いと思う。取り付け道路がここなら、効率がいいと考えられる。

• **江田委員**

敷地内通路、駐車場や建物は、アスファルトやコンクリートで覆われると思う。近ごろ集中豪雨が多く発生している。工場は水に浸からないと説明があったが、雨水の処理はどうなるのか。校庭や森林は、浸透すると思うが、アスファルト等は地面に浸透しない。夕立が来ても大丈夫か。その水は境川に流れると思うが、どうなのかと疑問に思った。

• **高津（日建設計）**

開発をする際には、雨水流出抑制槽を設置する。計画地内に短時間で多量に降った雨を、一時貯留用の雨水タンク等を設けて、一挙に流れないように調整する。建物の地下等にピットをつくり、雨水を貯める方法もある。現状が森林の部分で、アスファルト等に変わる部分は、多く流れ出してしまうため、それを抑制する設備を設置する。ゲリラ豪雨のようなレベルでは、どこまで耐えられるか不確定な部分はあるが、ある程度までは問題なく耐えられる設備を設置すると考えてください。

• **江田委員**

わかりました。

• **事務局**

流出抑制は行う事になっている。ただ、基準は60mmの雨で計画するため、80mmや90m

mの強い雨には、なかなか耐えられない。一定の降雨量には、一気に水が流れないように抑制できる。

• **田後担当部長**

敷地エリアの飲み込みというのは、調整槽で対応するしかないが、公園内外に森林をたくさん残せば浸透性は良いと思う。

• **高津（日建設計）**

そのとおりです。

• **平山会長**

なるべく崩さないほうがいい。

• **高津（日建設計）**

流出係数が上がるため、できるだけ森林を残した方が保水力は高くなる。

• **平山会長**

整地されたグラウンドのような公園をつくられると、始末に負えない。

• **井川委員**

くぼみが多いため、整地するのは、とても大変だ。地元だからわかるが。

• **平山会長**

それは今後の課題だ。井川委員の家の真裏まで敷地に入っているが、そこらあたりが今でも危ない箇所の部分だ。そういうところに対しての手当てはしっかり、設計の段階で考えていただきたい。雨が降ると、ぼろぼろと土が下に落ちてくる。

• **田後担当部長**

公園と書いてある側の、学校に沿った部分は現在でも危険な状態となっている。これについては当然、対策を取る事になる。大戸からの要望にもあり、それは別に考えている。

• **事務局**

今までの協議では、A案が望ましいという意見が多かったので、今後の地区連絡会の検討の流れはA案をベースに進めさせていただきたいと思う。

• **田後担当部長**

先ほど事務局から説明のあった、シャッターや窓の件だが、市で検討するが、運営するメーカーの考え方もある。それに関して皆さんから意見をいただきたい。説明の中にあったが、車両は、計量後にシャッターが開き入ってくる。このため距離は近いほうが絶対にいい。走行距離が長くなれば、走行音の発生時間も長い。施設内も、音がするため、計量後は速やかに施設内に入れて、シャッターは閉めてしまったほうがいい。その点に関しても、意見があれば、出していただきたい。作業空間について、明りは絶対に必要なため、確保するが、見学者スペースや、皆さんが使用するスペースは、可能な限り明るいほうがいい。該当する部屋はガラスを多用してほしいなど、意見をいただきたいと思う。

• **江田委員**

音さえ漏れなければ明るいほうがいい。

• **田後担当部長**

作業空間にガラスを多用すると、音が漏れる可能性があるため、必要最低限はもちろん確保していく予定。

• **平山会長**

品物の中には、発火性のあるものも扱うと思う。排煙などの設備の面は、しっかり検討し設置してもらえば良いと思っている。

・田後担当部長

物をダンプ等で運び、回収物を降ろす時に、瓶の当たる音や、がらがらと音が発生する。そのような騒音を可能な限り、施設外に漏らさないために、窓の数を少なくし、シャッターの開閉をできるだけ早くするような方法は考えているが、他に意見があれば、いただきたい。

・事務局

A案という話をいただいたが、この緑のエリアの説明を補足する。公園予定地のエリアを緑に塗っている。この形態の理由は、東側が道路で分かれており、西側は、水路が挟まったり、崖地になったりしているため、地形上の形に合わせた線形にしている。その他に北側は、相武カントリーとの境界があり、こちらも地形上の形態に合わせている。南側、町田街道側は、町田街道の端から100mまでが市街化区域となっており、それ以降は市街化調整区域となっているが、区域境界線で分けると、地形と適切な形にならないため、現場の地形や、土地の所有者や地権者の関係で、この形で表している。また計画と土地の用地買収の関係で若干変わると思うが、市街化調整区域を原則に、地形に合わせて線形を引かせていただいた。

・平山会長

敷地形形状の件は、我々の意見よりも、地権者と市の話し合いになると思う。

○ 議題4 今後の進め方について

・資料4-1： 今後の事業スケジュール（案）

・資料4-2： 地区連絡会及び見学会等における今後の協議事項について

資料4-1 4-2を用い、事務局から、説明した。

(以下、質疑応答)

特に質疑は無かった。

3. 開会の挨拶

○ 開会の挨拶

田後循環型施設建設担当部長より、閉会の挨拶を行った。

(19時25分 閉会)